

愛称：マハラジャ

# アムンディ・リそなインド・ファンド

追加型投信／海外／株式

## 第 36 期

(決算日 2023年12月15日)

作成対象期間 (2023年6月16日～2023年12月15日)

第36期末 (2023年12月15日)	
基準価額	14,883円
純資産総額	34,394百万円
第36期	
騰落率	13.5%
分配金 (税込み)	500円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### ●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。

当ファンドは、「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」(米ドル建) への投資を通じて、主としてインドの株式 (ADR (米国預託証券) およびGDR (グローバル預託証券) を含む) に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、「CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)」(円建) への投資も行います。原則として、為替ヘッジは行いません。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

#### 【閲覧方法】

- 右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」(当ファンドが償還した場合は「償還ファンド一覧」) をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書 (全体版) をクリック
- 運用報告書 (全体版) は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

<お問い合わせ先> お客様サポートライン：050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

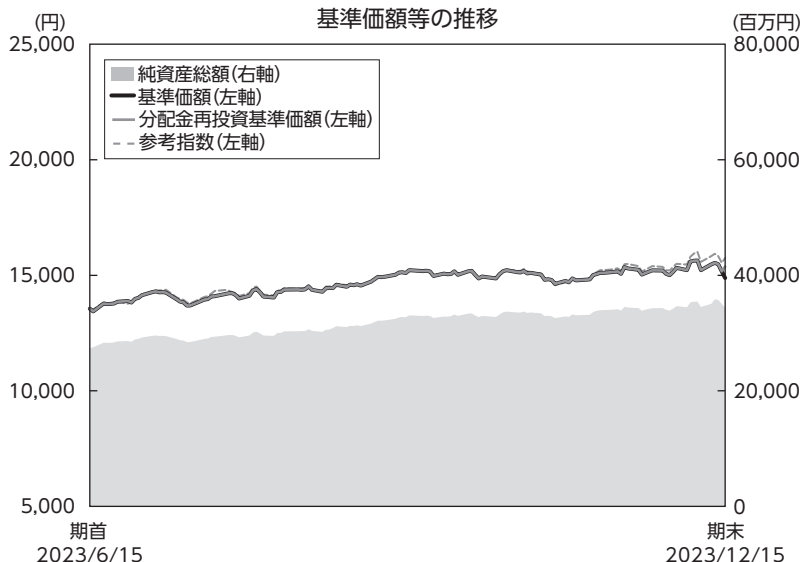
ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

<3298439・3326683>

# 運用経過

## 基準価額等の推移

第36期首	13,550円
第36期末	14,883円
既払分配金 (税込み)	500円
騰落率	13.5% (分配金再投資ベース)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 参考指数は、MSCIインド10/40インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)です。

(注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2023年6月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

- ① 期を通じて海外投資家からの資金流入があったこと
- ② 2023年10～11月に発表された第2四半期決算が市場予想を上回り好調であったこと
- ③ 11月に、FRB(米連邦準備理事会)による今後の政策金利に対するハト派姿勢への期待を背景とした金利低下により、インド株式市場が上昇したこと

### 下落要因

- ① 2023年8月に、株式市場が債券利回りの上昇や海外投資家の利益確定の動きにより下落したこと
- ② 7月～8月に発表された第1四半期決算で、原材料価格の下落が利益の伸びを支援したにもかかわらず、売上高が低調だったこと
- ③ 10月にインドの債券利回りが上昇し、海外投資家のセンチメント悪化により株式が売却されインド株式市場が下落したこと

## 1万口当たりの費用明細

項 目	第36期 (2023年6月16日 ～2023年12月15日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a)信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	91円 (31) (56)  ( 4)	0.621% (0.209) (0.385)  (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)その他費用 (保管費用)  (監査費用) (その他)	1 ( 0)  ( 1) ( 0)	0.006 (0.000)  (0.005) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	92	0.627	
期中の平均基準価額は14,621円です。			

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

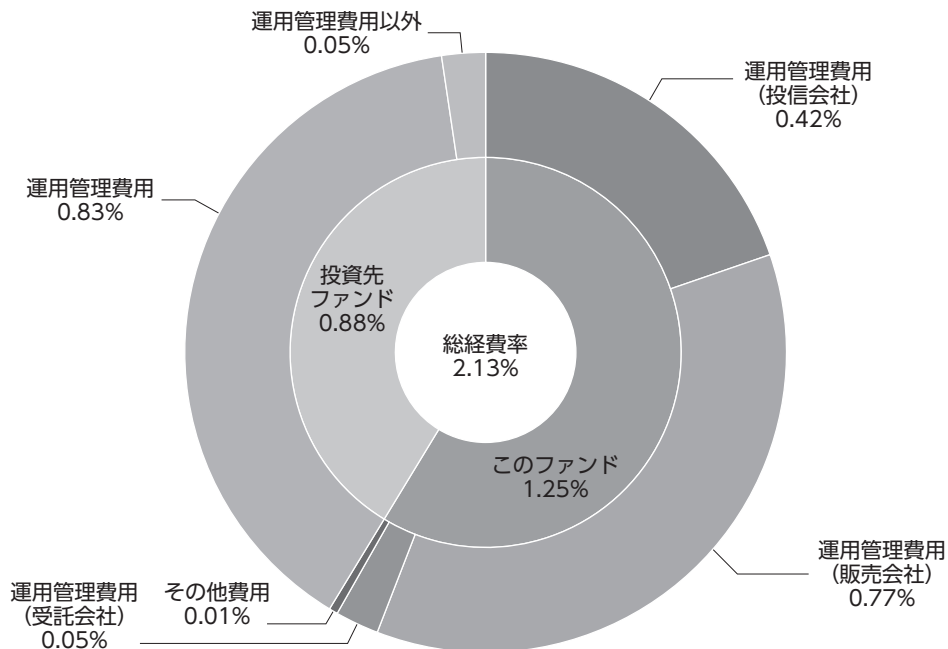
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ● 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



総経費率 (①+②+③)	2.13%
①このファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.83%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

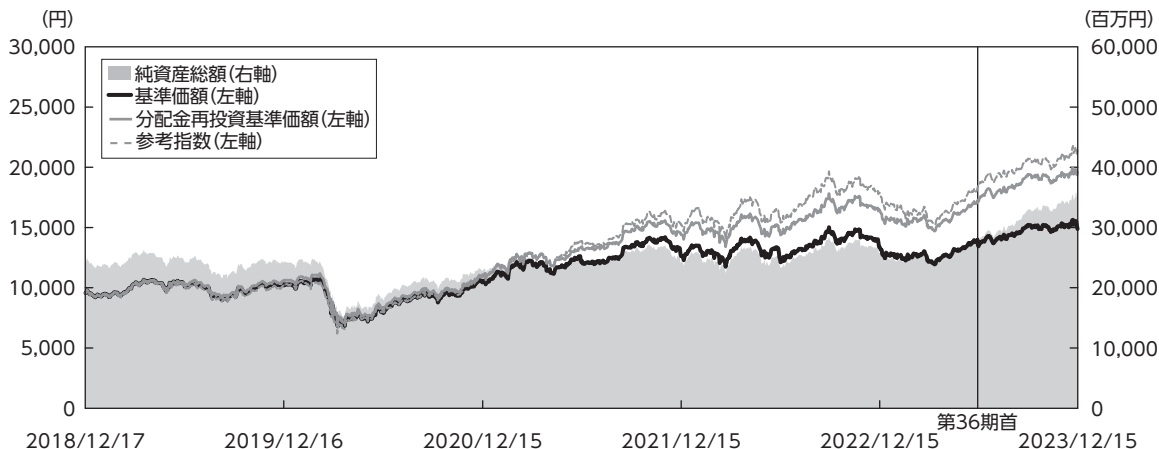
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2018年12月17日～2023年12月15日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 参考指数は、MSCIインド10/40インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。

(注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年12月17日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2018/12/17 期首	2019/12/16 決算日	2020/12/15 決算日	2021/12/15 決算日	2022/12/15 決算日	2023/12/15 決算日
基準価額(円)	9,568	10,246	10,464	12,765	13,403	14,883
期間分配金合計(税込み)(円)	—	350	200	1,000	1,000	1,000
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	10.8	4.1	32.0	13.3	19.0
参考指数騰落率(%)	—	6.5	7.3	40.5	16.5	19.7
純資産総額(百万円)	24,331	24,152	22,737	24,110	25,570	34,394

(注1) 参考指数は、MSCIインド10/40インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。MSCIインド10/40インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、その他の知的財産権はMSCI Inc.に帰属しております。

(注2) 海外の指数の場合は、基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 投資環境

### 〈インド株式市場〉

当期中に、S&P/BSE SENSEXインド指数は現地通貨ベースで上昇しました。セクター別にみると、公益事業、不動産、資本財・サービスが好調だった一方、生活必需品、素材、金融は振るいませんでした。また、同期間中、海外および国内機関投資家のフローは、いずれもプラスとなりました。

インドの第2四半期GDP（国内総生産）成長率は前年同期比7.6%と、市場のコンセンサスやインド準備銀行（中央銀行）予想を上回りました。世界の成長率が大幅な減速を回避した結果、輸出額が予想よりも好調となったことや、政府資本支出の前倒し、不動産セクターの回復が、GDP成長率に寄与しました。一方、消費需要は依然として低調となりました。家計消費の回復が伸び悩んでいますが、インドでは建設活動や資本支出が拡大していることから、雇用増や消費需要の改善につながるかとみています。

### 〈為替市場〉

当期のインドルピー／円相場は、期初に弱含む場面がみられたものの、2023年11月半ばにかけて上昇基調となりました。期末にかけてはやや下落し、期初と同水準で当期を終えました。期初は1.7円台前半で始まり、一時上昇したものの、米インフレ率の鈍化や日銀の金融政策が見直されるとの観測から7月半ばにかけ1.6円台後半まで下落しました。その後インドルピーは、11月半ばにかけて堅調に推移し1.8円台前半まで上昇しましたが、期末にかけては利下げへの期待を反映した米国長期金利の低下を背景に、当期末の水準近辺へ値を戻しました。

### 〈日本の短期国債市場〉

当期の短期国債市場では、日銀によるマイナス金利政策のもと、TDB（国庫短期証券）3ヵ月物利回りがマイナス圏での推移を継続しました。TDB 3ヵ月物利回りは、マイナス圏で-0.10%から-0.20%を中心に推移しましたが、9月末から10月初にかけては年末越えの担保差入れ需要により一時-0.30%近辺までマイナス幅を拡大するような局面もありました。

## ポートフォリオ

### 〈当ファンド〉

当ファンドは主として、インドの株式（ADR（米国預託証券）およびGDR（グローバル預託証券）を含む）を主要投資対象とする「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」と「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」に投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行いました。当ファンドは「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」に90%以上投資することを基本方針としていることから、当該ファンドを高位に組入れ運用を行いました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

### 〈Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ〉

当ファンドは当期中に、一般消費財・サービス、資本財・サービス、金融等のウェイトを引き上げ、エネルギー、情報技術等のウェイトを引き下げました。

当期中にパフォーマンスへプラス寄与したのは、資本財・サービスや生活必需品のオーバーウェイト、素材、生活必需品、金融の銘柄選択等でした。一方、公益事業のアンダーウェイトと金融のオーバーウェイト、一般消費財・サービスおよび資本財・サービスの銘柄選択等はマイナスに働きました。

(アムンディ・ホンコン・リミテッド)

### 〈CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）〉

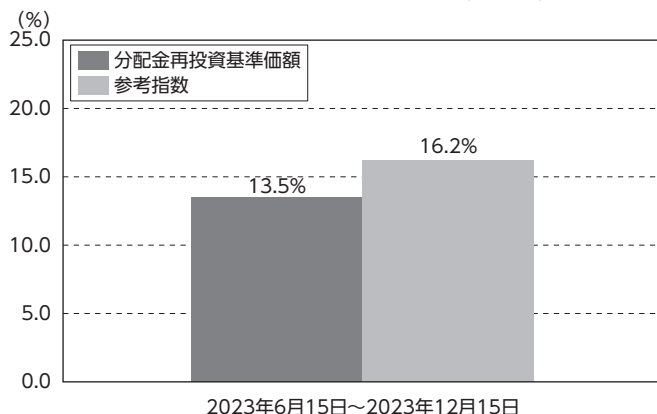
当期、主として12ヵ月以内に償還を迎える地方債への投資により、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

## ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



(注1) ファンドの騰落率は、分配金（税込み）が分配時に再投資されたものとみなして計算したものです。

(注2) 参考指数はMSCIインド10/40インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、以下のとおり分配を行いました。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## 分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第36期
	(2023年6月16日～2023年12月15日)
当期分配金	500
(対基準価額比率)	(3.250%)
当期の収益	500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,734

- ・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
- ・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

### 〈当ファンド〉

引き続き、当ファンドが主に投資する「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」の組入比率を高位に維持する予定です。この投資比率は短期的な視点で判断するものではなく、継続性を重視しています。なお、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」（円建）にも投資を行います。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

### 〈Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ〉

より長期的な収益環境は依然としてインドにプラスに働いています。これはGDPに対する収益のトレンドが過去3年にわたり上昇していることに表れています。短期的なバリュエーションには若干行き過ぎの感がありますが、インドの長期的な成長シナリオは引き続き魅力的と思われる。複数の要因が投資活動やインドの収益サイクルを後押ししていくと見込んでいます。インドでは製造業や投資の回復に主導された経済成長や収益の成長に向けて準備が整ったように見え、これが長期的に株式にプラスに働く主な要因になると見込まれます。よって、インドの長期的な投資テーマは引き続き魅力的と考えます。当ファンドは引き続き投資プロセスに重点を置き、ボトムアップ・アプローチに注力する方針です。

(アムンディ・ホンコン・リミテッド)

### 〈CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）〉

安全性重視の観点から、12ヵ月以内に償還を迎える債券への投資により安定的な運用を行います。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

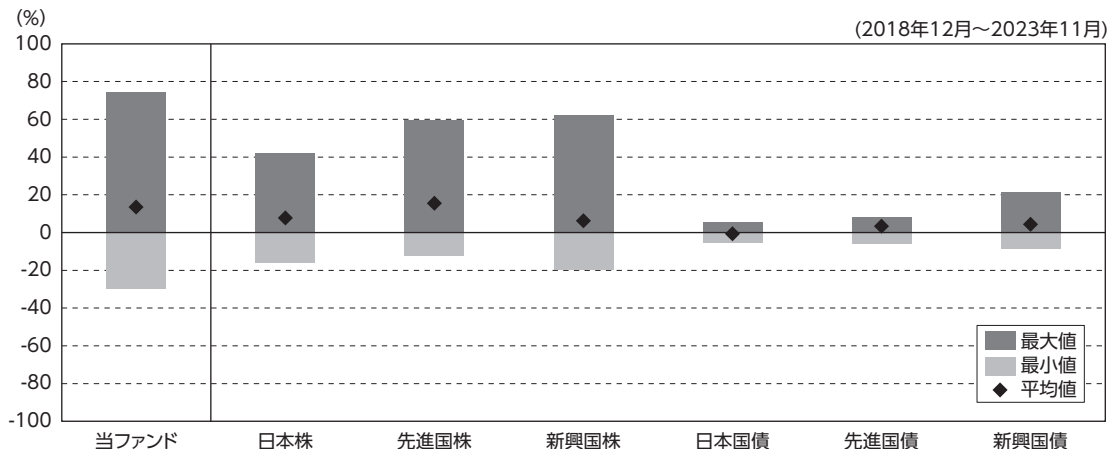
## お知らせ

2024年1月1日より開始する新しいNISA（少額投資非課税制度）のうち成長投資枠の対象とするべく、税法上の要件を満たしていることを明確化するため、2023年9月16日付で投資信託約款に所要の変更を行いました。

## ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2006年1月31日から無期限です。	
運用方針	「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」(米ドル建) への投資を通じて、主としてインドの株式 (ADR (米国預託証券) およびGDR (グローバル預託証券) を含む) に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、「CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)」(円建) への投資も行います。原則として、為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	アムンディ・リそなインド・ファンド	Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)
	Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ	インドの株式 (ADR (米国預託証券) およびGDR (グローバル預託証券) を含む)
	CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)	本邦通貨表示の短期公社債
運用方法	<p>① 「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」(米ドル建) への投資を通じて、主としてインドの株式 (ADR (米国預託証券) およびGDR (グローバル預託証券) を含む) に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>② 「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」(米ドル建) の組入比率は、原則として、90%以上とすることを基本とします。</p> <p>③原則として、為替ヘッジは行いません。</p>	
分配方針	<p>毎決算時 (年2回、原則毎年6月15日および12月15日。休業日の場合は翌営業日) に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分も含めた利子・配当収入と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。収益分配金額は、委託会社が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

## 当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



### 当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	13.5	7.6	15.4	6.2	-0.6	3.3	4.3
最大値	74.6	42.1	59.8	62.1	5.4	8.0	21.5
最小値	-29.9	-16.0	-12.4	-19.7	-5.5	-6.1	-8.8

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 上記は、2018年12月から2023年11月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

### 各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・ 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・ 当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・ 騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

#### 組入ファンド

2023年12月15日現在

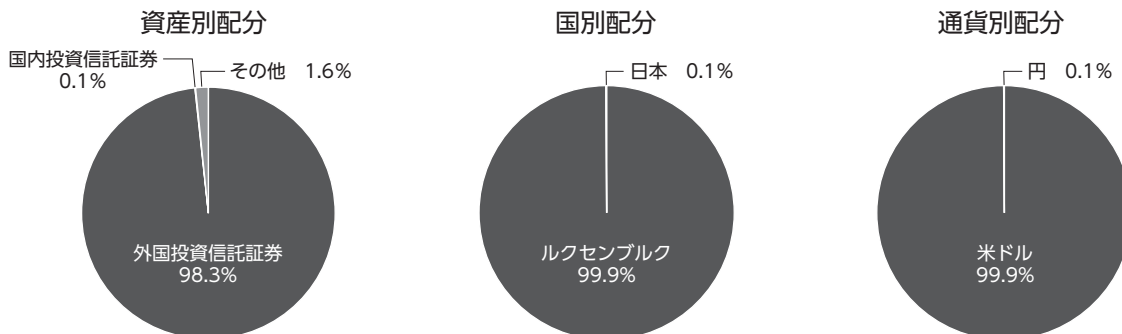
(組入銘柄数：2銘柄)

	銘柄	通貨	比率
1	Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ	米ドル	98.3%
2	CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)	円	0.1%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されております。

### 種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

### 純資産等

項目	第36期末 2023年12月15日
純資産総額	34,394,125,738円
受益権総口数	23,109,107,082口
1万口当たり基準価額	14,883円

※当期間 (第36期) 中における追加設定元本額は3,682,339,855円、同解約元本額は756,078,069円です。

## 組入ファンドの概要

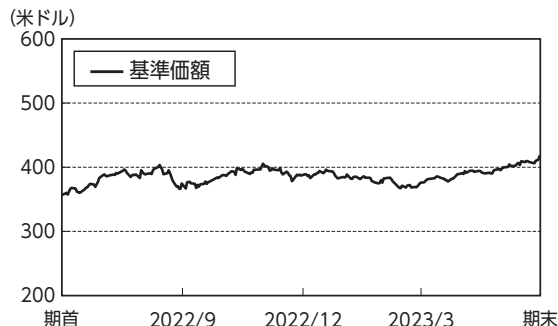
### <Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ>

決算日：2023年6月30日

(計算期間：2022年7月1日～2023年6月30日)

「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載しています。

## 基準価額の推移（組入シェアクラス）



## 組入上位10銘柄

2023年6月30日現在

(組入銘柄数：34銘柄)

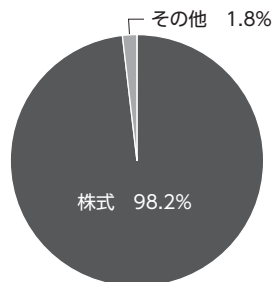
	銘柄	通貨	発行国	比率
1	ICICI BANK LTD	インドルピー	インド	8.3%
2	INFOSYS TECHNOLOGIES	インドルピー	インド	8.1%
3	HDFC BANK LTD	インドルピー	インド	6.8%
4	LARSEN & TOUBRO LTD	インドルピー	インド	6.5%
5	AXIS BANK	インドルピー	インド	4.7%
6	MARUTI SUZUKI SHS	インドルピー	インド	4.6%
7	MAHINDRA & MAHINDR	インドルピー	インド	4.3%
8	ULTRA TECH CEMENT	インドルピー	インド	4.2%
9	STATE BANK OF INDIA	インドルピー	インド	3.3%
10	ABB LTD	インドルピー	インド	3.3%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

## 種別構成

### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

## 1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

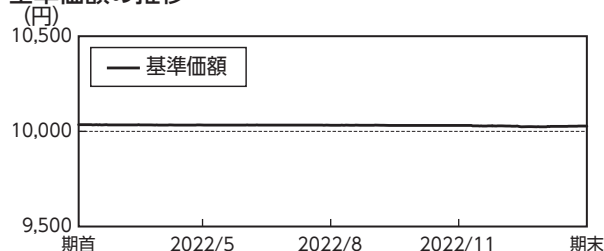
## 組入ファンドの概要

### <CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)>

第16期 決算日：2023年2月15日

(計算期間：2022年2月16日～2023年2月15日)

### 基準価額の推移



### 組入銘柄

2023年2月15日現在  
(組入銘柄数：2銘柄)

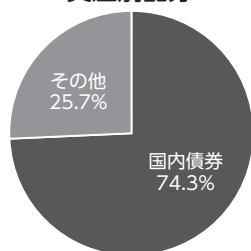
	銘柄	種別	比率
1	第128回共同発行市場公募地方債	地方債	53.1%
2	第375回大阪府公募公債(10年)	地方債	21.2%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

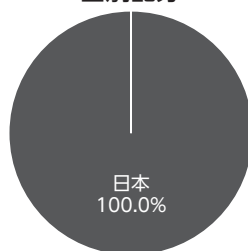
(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

### 種別構成

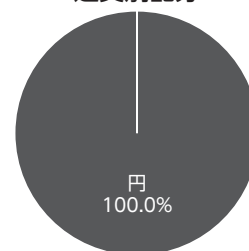
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

### 1万口当たりの費用明細

項 目	第16期 (2022年2月16日 ～2023年2月15日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	1円 (1) (0)  (0)	0.011% (0.009) (0.001)  (0.002)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (その他)	1 (1)	0.007 (0.007)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	2	0.018	

期中の平均基準価額は10,031円です。

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 指数に関して

### ○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### • 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXの指数値およびTOPIXにかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXにかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。

#### • MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

#### • MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

#### • NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社 (以下「NFRC」という。) が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利はNFRCに帰属します。

#### • FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### • JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

**Amundi**  
**ASSET MANAGEMENT**  
アムンディ アセットマネジメント